

さわらび

学校運営協議会の報告



12月14日(土)に、第4回学校運営協議会を開催しました。コミュニティスクールとして取り組んでいる本校では、年間5回この会を開催しています。学校の取り組み方針や実践の報告・課題の共有等をして、よりよい学校経営ができるようにと継続しています。

今回は、参観日を兼ねての授業公開と懇談を主な内容としていましたので、授業の感想もお聞きしました。おもな意見や協議内容は下記の通りです。

【授業の感想】

○今日のような会話をしている英語の授業は昔はなかった。単語でも通じるのだから、こうして外国人と話す力をつけることは大事だと思う。

○このように中学生の授業を見たのは久しぶり。子どもたちも先生も楽しそうだった。仕事をしていたとき、外国人相手の仕事もあったが、自分は全然話せなかったので苦労した。これからは英語を話せることは必要だと思う。

それ以外の協議では、私の方から、11月以降の本校の取組(生徒の様子)を伝えたり、1月の人権コンサートや小熊弥生さんとの授業のお知らせ、次年度の校舎前の階段の補修ボランティアのことなどをお伝えして意見をいただきました。また、委員の尾崎さんから次のような意見もありました。

○10月の防災参観日、楽しかったしすごくよかった。大方高校の生徒にも手伝ってもらったりして、中学生と地域の人と一緒にできたことがよかった。何かと一緒にするという防災の取組は大事。実は、(私もメンバーの)四万十市防災士会で、防災すごろくを作った。新聞にも載せてもらったけど、藤岡中でもやってみたり、藤岡中版の防災すごろくを作ってもいいと思う。作ることで勉強になると思う。(尾崎明子さん)

いつも率直に多様な意見を出していただくこの会は、本校の取り組みを進めていくうえで大事なものになっています。

第2回 卒業生インタビュー

12月18日(水)、次年度の「閉校記念誌」づくりのための卒業生インタビューの2回目を行いました。今回は、20代から60代までの6人の卒業生の皆さんにお世話になりました。今後、7月の1回目の分とあわせて、計15名の卒業生の皆さんの思い出の話を、3月までには掲載用原稿として仕上げる予定です。

18日のインタビューの様子を、裏面に写真で掲載しています。

地域の皆様へ

アルミ缶回収で気をつけてほしいこと (お願い)

日頃は、藤岡中学校でのアルミ缶回収にご協力いただき、まことにありがとうございます。本当にいつもたくさん持ってきていただいていますこと、資源ゴミのリサイクルとしても、藤岡保小中PTAの活動資金としても大変ありがたいことです。

設置場所が本校の入り口ですので、出していたアルミ缶は、いつも本校の生徒と上岡用務員が中心になって袋詰めをしています。

そこで1つ、皆様にお願ひがあります。

実は、この写真のようにアルミ缶の中に「タバコの吸い殻」が入っていたり、アルミ缶以外のもの(ビン類、スチール缶等)が混ざっていることが時々あります。「タバコの吸い殻」の入ったアルミ缶はリサイクルできませんので、回収業者さんに出すことができません。そのため、このようなものを見つけた場合は、生徒や上岡用務員が1つ1つ仕分けをして取り除いています(その後、一般ゴミとして中学校から出しています)。

どうぞ各ご家庭でこの点に気をつけていただき、



これからも中学校前でのアルミ缶回収にご協力くださいますようお願いいたします。

【校長 大塚】

保護者の皆様へ

冬休み帳「かわざり」を25日の終業式で配布します。休み中の予定や家庭学習課題、生活の注意などが載っていますので、各ご家庭でも熟読して活用してください。

※地域への配布の都合もあり、12月の学校通信はこのNo.23で終了します。では、よいお年をお迎えください。そして、1月8日(水)の始業式には、みんなで元気に集まりましょう。



インタビューさせていただいた卒業生の皆様、
この取組の協力者として手伝っていただいた皆
様、本当にありがとうございました。